

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	今までの理念は設立時の職員が考えたもので、職員の異動もあり今年度新たに理念を考え変えた。職員と定期的な面談を行いながら理念に沿った関わりできているか確認が必要である。	職員全員が理念を共有し実践へと繋ぐことができる。	1・ケア検討会やカンファレンスで理念に沿った関わりができているか、ご利用者の思いに寄り添っているのか話し合う。 2・6ヶ月に1回職員と面談を行い、個々の目標に到達しているか確認する。	12ヶ月
2	13	地域と防災協定を結び、双方の避難訓練へ参加し地域との協力体制を築けるよう努力している。館町エリアとしても今年度は備蓄品の整備に力を入れ、また、訓練を継続していくことで災害時に備えていく必要がある。	備蓄品の整備を行い、災害時スムーズな避難が出来るようになる。	1・毎月グループホーム内で訓練(火災・地震等)を行う 2・年2回救急時の対応の訓練の実施 3・地域防災訓練への参加 4・年2回エリアとしての地域の方を招いての総合訓練の実施 5・定期的に備蓄品の在庫確認を行う。 6・防災関係のマニュアルの見直し	12ヶ月
3	2	エリアとして地域行事への参加や地域の方を招いての行事の開催など行い、地域交流に努めている。今後も良い関係性が築けるよう地域貢献に努めて行く必要あり。	地域貢献を行いながら、事業所の理解を深めることができる。	1・地域事業所へ手縫いの雑巾を寄付する。 2・地域行事への参加(夏祭り・避難訓練・境内掃除など) 3・エリア・事業所の行事へ地域の方を招き、入居者の方々との交流を図ることが出来るよう環境を整える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。